

SEIKO

セイコーウオッチ株式会社



・大気汚染の原因となる揮発性有機化合物の発生を減らすために、この取扱説明書は、植物性大豆インキを使用して印刷しています。

このたびは、セイコーデジタルストップウォッチS141をお買い上げいただきありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なおこの取扱説明書はお手もとに保存いただき、必要に応じてご覧ください。

#### ⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

#### ⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

SEIKO

セイコーデジタル  
ストップウォッチ

S141

取扱説明書  
INSTRUCTION

## 目次

1	S141の主な特長	2
2	ストップウォッチの使いかた	
	①各部の名称とはたらき	3
	②ストップウォッチのメモリー機能について	4
	③通常の使いかた	5
	④積算での使いかた	6
	⑤スプリット、ラップの使いかた(最下段トータルタイム表示の場合:例マラソン)	7
	⑥スプリット、ラップの使いかた(最下段ランニングラップ表示の場合)	8
	⑦メモリーの呼び出しについて(シングルメモリー方式の場合)	9
	⑧ブロックメモリー方式を選択した場合	11
	⑨メモリー使用量について	16
3	ピッチ計の使いかた	17
4	時計・カレンダー表示	
	①各部の名称とはたらき	20
	②時刻・カレンダーの合わせかた	21
	③液晶パネルのコントラスト調整	24
5	お取り扱いにあたって	
	①お取り扱い上の注意	25
	②電池についてのお願いとご注意	26
	③液晶パネルの交換について	28
6	長くご愛用いただくために	28
7	製品仕様	29
8	アフターサービスについて	30
9	補修用性能部品について	30

## 1 S141の主な特長

セイコーストップウォッチS141は、1分あたりのピッチ（ストローク数）を簡単操作で計測し、デジタルで表示する「ピッチ計測機能」付のストップウォッチです。また、スプリット・ラップ・トータルタイムまたはランニングラップタイムを同時に確認できる「3段表示の大型パネル」と計測データの「メモリー機能」を備えています。10気圧防水ですので、雨天時や水しぶきのかかりやすいスポーツでも安心して使用できます。

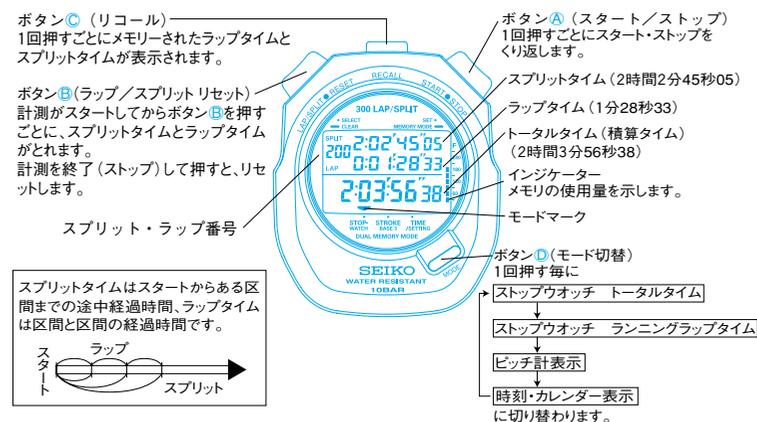
- ストップウォッチ機能・・・1/100秒単位、最大計測時間9時間59分59秒99、ラップ（区間経過時間）、スプリットタイム（途中経過時間）、トータルタイム（スタートからの経過時間）またはランニングラップタイム（現在計測中のラップタイム）を表示します。
- 3段表示の大型パネルを採用・・・トータルタイム（またはランニングラップタイム）と、スプリットタイムとラップタイムを同時に見やすく表示します。
- ピッチ計測機能・・・ボートのオールを漕ぐ動作など、3回分の動作時間をスタート・ストップの2操作で測定することにより、1分間あたりの回数（ピッチまたはストローク数）に換算し表示します。ピッチ計測結果は、最大9回分をメモリーし呼出表示ができます。
- デュアルメモリーモード機能・・・ストップウォッチ機能で計測したデータは、最大300ラップ/スプリットまでをメモリーします。計測中および計測後、呼び出して見ることができます（シングルメモリー）。また、メモリー方式を変更（設定の変更が必要）することにより、スタートからストップ（リセット）までの一連のデータを「ブロック」として扱い、前のデータを消さずに別ブロック（最大100ブロック）としてメモリーさせることができます（ブロックメモリー）。
- その他、個人別管理に役立つID設定機能、メモリー使用量インジケータなどの便利な機能があります。
- 本体に抗菌材を使用しております。

※経年変化やご使用の状態によって抗菌効果は低下いたします。

- ストップウォッチを使用しないときはカレンダー付時計としてもご使用いただけます。

2

## 2 ストップウォッチの使いかた ①各部の名称とはたらき



※ シングルメモリー方式（ブロック方式を選択しない場合）を例に説明しています。ブロックメモリー方式を選択した場合には、「ブロックメモリー方式を選択した場合」をご参照ください。(P.11)

3

## ②ストップウォッチのメモリー機能について

- ・S141は、最大300個ラップ/スプリットデータをメモリーでき、計測中もそのメモリーを呼び出して見ることができます。
- ・ラップ/スプリットの回数が300を越えても計測および表示は可能ですが、メモリーに残るのは、300までのデータになります。  
※シングルメモリー方式の場合、次の計測をスタートさせるとメモリーは自動的にクリア（消去）されますので、ご注意ください。
- ・専門的な使用方法として、ブロックメモリー方式に切り替えることができます。ブロックメモリー方式を選択した場合は、次の計測を行っても前の計測データが残るので、記録の保存やデータの比較等に便利です。詳しくは、「ブロックメモリー方式を選択した場合」をご参照ください。(P.11)

4

## ③通常の使いかた

ボタンを押す順序 A→A→B

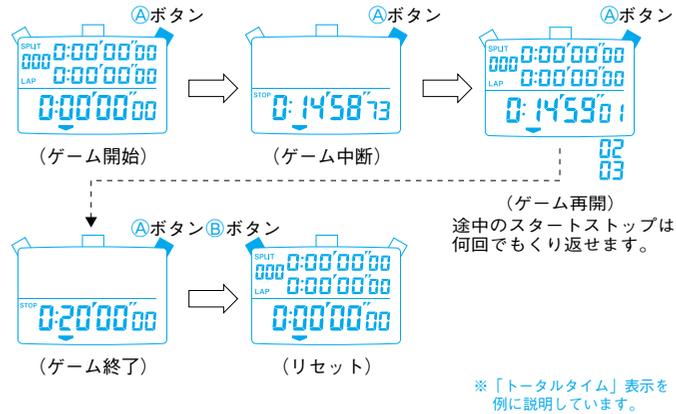


※ 「トータルタイム」表示を例に説明しています。

5

#### ④積算での使いかた

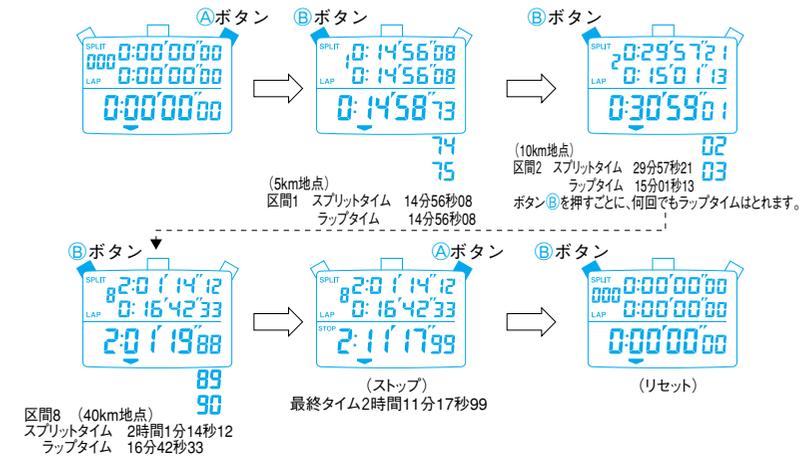
ボタンを押す順序 A→A→A→A→B



6

#### ⑤スプリット、ラップの使いかた(最下段トータルタイム表示の場合:例マラソン)

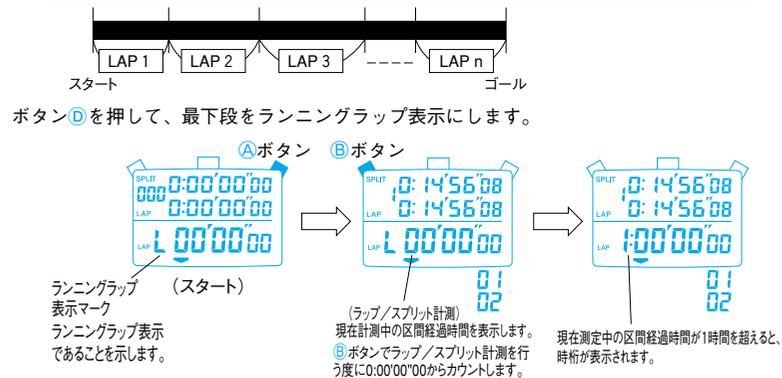
ボタンを押す順序 A→B→B・・・B→A→B



7

#### ⑥スプリット、ラップの使いかた(最下段ランニングラップ表示の場合)

ランニングラップタイムの計測...最新の区間経過時間を表示させながら区間経過時間を計ります。



8

#### ⑦メモリーの呼び出しについて (シングルメモリー方式の場合)

- ・計測し、メモリーされたデータ (最大300データ) を呼び出し、見ることができます。
- ・ボタンCを押すごとにメモリーしたデータが呼び出され、押し続けると連続して呼び出されます。
- ・タイム計測中 (ストップウオッチ作動中) でもメモリーしたタイムを呼び出すことができます。

・タイムの呼び出し方向

	ボタンCを押すごとに
ストップウオッチが停止しているとき	古い順にタイムを呼び出します
ストップウオッチが動いているとき	新しい順にタイムを呼び出します

・メモリー (ラップ・スプリットデータ) 呼び出し中のボタン操作。

●ストップウオッチ作動中

ボタンAとボタンBはそれぞれのストップウオッチ操作になります。

ボタンDは呼び出し前の状態に戻ります。

●ストップウオッチがストップまたはリセットの場合

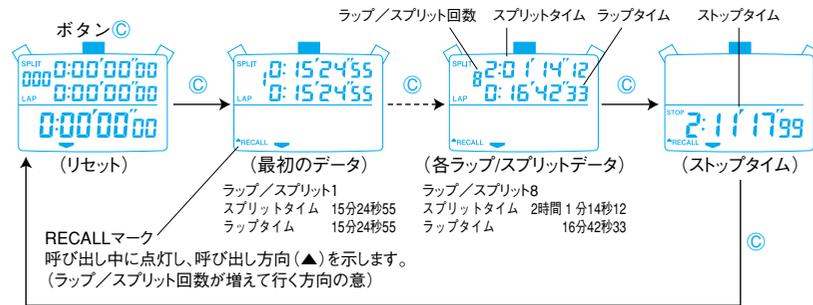
ボタンAとボタンBおよびボタンCいずれも呼び出し前の状態に戻ります。

※次の計測を始める (スタート) と、メモリーされたデータは自動的にクリア (消去) されますので、ご注意ください。

9

## ⑧ブロックメモリー方式を選択した場合

- ストップウォッチがリセット状態、またはストップ状態のとき：  
ラップ1から古い順にデータを表示します。  
(例：計測後、リセット状態の場合)



10

ここでは、メモリーとしてブロックメモリー方式を選択した場合、ストップウォッチの使用  
方法で異なる部分のみを説明します。  
計測したデータ (ラップ/スプリット) のメモリー方式として、  
「シングル」：スタート～ストップまでの1つの計測データのみをメモリーします。リセットし、  
次の計測をスタートさせると自動的に前回のメモリーがクリア (消去) される方式。  
「ブロック」：スタートからストップ (リセット) までの一連のデータを「ブロック」として  
扱い、次の計測を行っても前のデータを消さずに別ブロック (最大100ブ  
ロック) としてメモリーさせる方式。  
の2種類があります。  
※ブロックメモリー方式はより専門的な使用方法になります。この方式を選択しない場合はこの項目は  
お読みいただく必要がありません。

- 〈メモリー方式を変更するには〉
- ・「時刻・カレンダーの合わせかた」状態で、「メモリー方式選択」で「ON」を選択してください。  
詳しくは、「時刻・カレンダーの合わせかた」をご参照ください。(P.21)
  - ・ブロックメモリー方式を選択すると、パネルの右下に [BLOCK] マークが点灯します。
- ※ストップウォッチ表示以外でも [BLOCK] マークが常時点灯します。

- ・番号とスタート日時が自動的にメモリーされますので、データ管理に便利です。
- ・シングルメモリー方式では、次の計測をスタートさせるとそれまでのメモリーが消えますが、  
ブロックメモリー方式では、次のブロックの計測を行ってもメモリーは消えません。

11

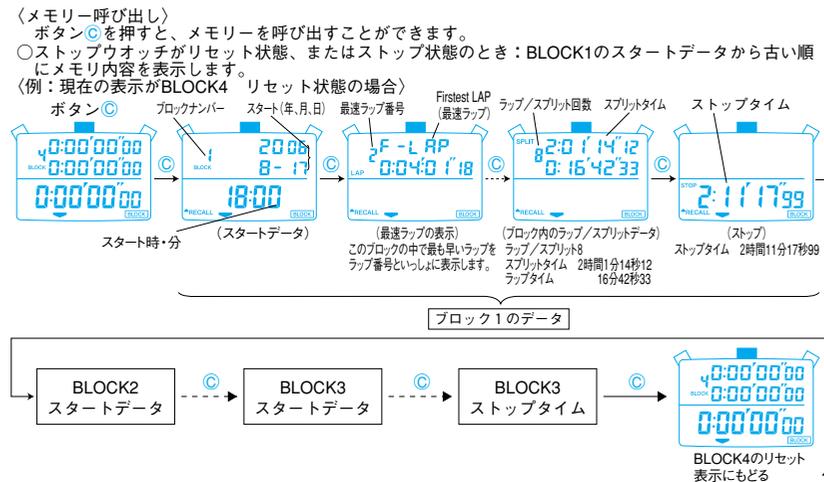
### 〈ストップウォッチの計測について〉

ブロックメモリー方式を選択した場合、リセット時に新しい「ブロックナンバー」が表示さ  
れます。  
これから計測する一連のデータに、この番号が付けられ、呼び出す際にもこの番号が表示さ  
れます。



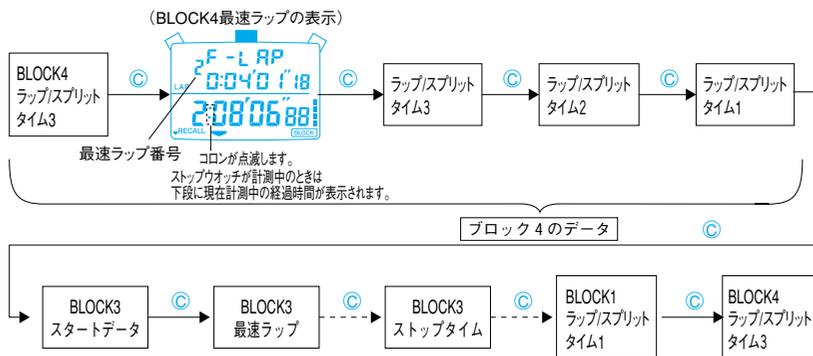
スタート日時も自動的にメモリーされますので、データ管理に便利です。  
※1つのブロックには、最低3個のメモリーを必要としますので、複数のブロックをメモリーした場合、各  
ブロック内のラップ/スプリットデータの合計が、300になる前にメモリーが満杯になります。

12



13

- ストップウォッチが計測中のとき：新しい順にメモリ内容を表示します。  
(例：現在の表示がBLOCK4 ラップ/スプリット計測3回終了時点の場合)



〈メモリーの消去について〉

- ・こんなときに、メモリー消去が必要になります。
  - 不要になった計測データを消したいとき
  - これから計測しようと思うが、メモリーの残量が少なくオーバーしそうなとき
- ・メモリーの消去とは、メモリーを全て消すことになります。ブロック単位やデータ単位の消去はできません。
- ③ ボタン(B) (CLEAR)を1.5秒以上押し続けてください。ボタン(B) (CLEAR)を押している間このような表示と共に「ビビビビビビ…」という警告音がします。1.5秒以上押し続けると、長い報音(ビー)とともにメモリーの消去が終了します。

- ① ストップウォッチが計測中やストップ状態ではメモリーの消去はできません。ストップウォッチをリセット状態にしてください。
- ② (C) ボタンを押してください。リコール状態ならば、どのメモリーを表示していてもメモリー消去をすることができます。



(メモリークリア操作)

すべてのデータが消去され、ブロック1のリセット状態になります。  
※ボタン(B)を1.5秒以上押さない場合は、メモリーは消去されません。



(リセット状態)



(スタートデータ)



(リセット)

⑨メモリー使用量について

- ・メモリーをどのくらい使用しているのかをインジケータで表示します。
- ・ブロックメモリー方式を選択している場合は、各ラップ/スプリットの他に、スタート及びブロックナンバーも2個のメモリーとして使用しますので、1つのブロックでは最低3個のメモリーが必要になります。よって、複数ブロックをメモリーした場合、各ブロック内のラップ(またはスプリット)データの合計が300になる前にメモリーが満杯になります。

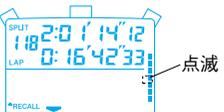


- インジケータの見かた  
10個のバー表示でメモリーの使用量を段階的に表示します。1個のバーが「データ30個分」に相当し、下からそのメモリーの使用量を表示します。

バー表示が示すメモリー使用量

290~300	メモリーの残量が10個以下になると点滅し、ゼロになると点灯します。
270~290	
240~269	
210~239	
180~209	
150~179	
120~149	「30個~59個」のデータがあることを示します。バー表示がない場合はメモリー使用量は29個以下です。
90~119	
60~89	
30~59	

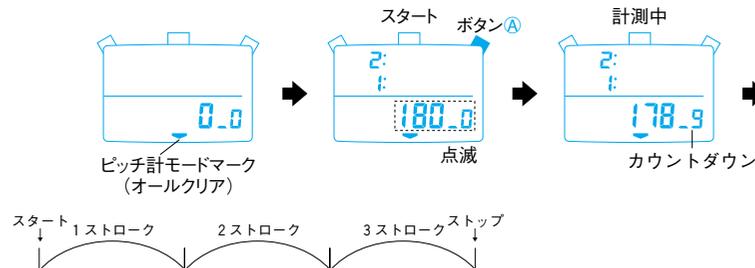
- メモリーの呼び出し中のデータ案内  
メモリー呼び出し中は、呼び出しているメモリーをバーの点滅で表示します。下図では210個~239個のデータがメモリーされていて、現在その真中あたりのメモリーを呼び出していることを示します。



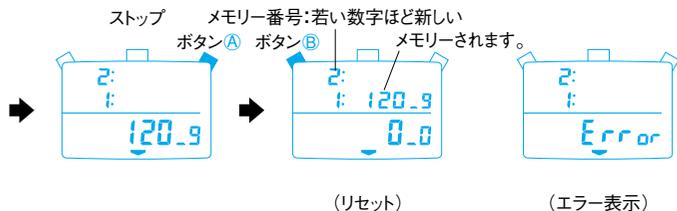
- メモリーが満杯になった場合  
・全てのバーが点灯します。  
※301個目以降の計測は表示されますが、メモリーされませんので後から呼び出すことはできません。

③ピッチ計の使いかた

- ・ボタン(D)を押してピッチ計表示にしてください。
- ・スタートさせて3ストローク(3周期)でストップすると、1分間あたりのストローク(ピッチ)数が表示されます。
- ・測定可能範囲：10~180ストローク/分
- ・最新の計測データ9個をメモリーします。9個メモリーされているときに10個目を計測すると、最初の計測データがメモリーから押し出されます。



※ボタン(A)を押してスタートさせてから1秒未満の間は、180.0の数字が点滅しています。この間は、ボタン(A)を押してストップさせるとエラー表示になります。また、スタートさせてから18秒以内にストップしないと、自動的にエラー表示になります。



リセットまたは、続けてスタートすると、計測結果がメモリー1にメモリーされます。次の計測結果は、メモリー1にメモリーされ、メモリー1にあったメモリーは、メモリー2に移されます。このように、最新のデータが常にメモリー1にメモリーされ、古いデータは「ところてん式」に押し出されていきます。

- メモリーの呼び出し  
ストップウォッチ機能と同様にボタンCを押すと、メモリーを呼び出すことができます。

※計測中は、メモリー呼び出しはできません。

メモリー呼出し中に表示されます。

ボタンCを押すごとにメモリー1から順に表示されます。

全てのメモリーされたデータを表示し終わると、元の表示に戻ります。

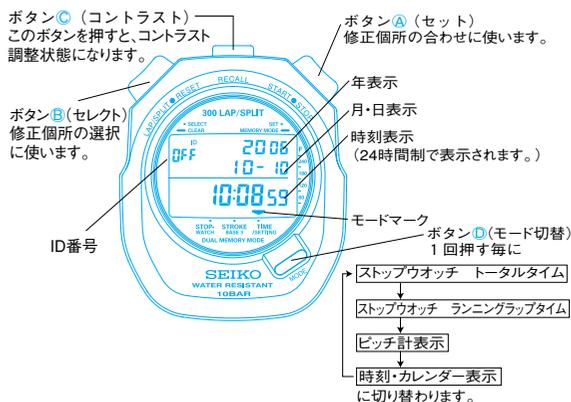


- メモリークリア  
メモリー呼び出し中にボタンBを1.5秒以上押し続けると、ピッチ計測した全てのメモリーをクリアすることができます。ボタンBの操作方法は、ストップウォッチ機能と同じです。

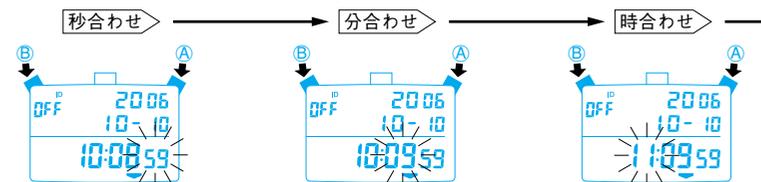


(メモリークリア操作)

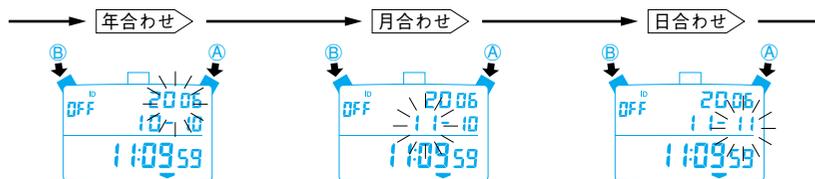
#### 4 時計・カレンダー表示 ①各部の名称とはたらき



#### ②時刻・カレンダーの合わせかた

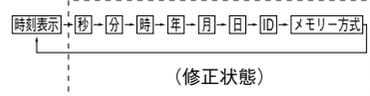


- ボタンBを押すと(秒)が点滅します。
- 時報と同時にボタンAを押すと00秒に合います。  
※秒表示が30~59秒の時にボタンAを押すと分が1分くり上がって00秒に合います。  
※ストップウォッチがリセットされていないと、「時刻・カレンダー合わせ」ができませんので、ストップウォッチをリセットしてから行ってください。
- ボタンBを押すと(分)が点滅します。
- ボタンAを押すごとに1分ずつ進みます。  
※ボタンAを押しつづけると数字が早く変わります。時・年・月・日・ID合わせの場合も同様です。
- ボタンBを押すと(時)が点滅します。
- ボタンAを押すごとに1時間ずつ進みます。  
※(時)は24時間制で表示されます。

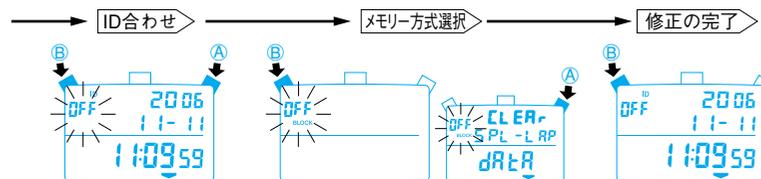


- 7 ボタンBを押すと(年)が点滅します。  
 8 ボタンAを押すごとに1年ずつ進みます。
- 9 ボタンBを押すと(月)が点滅します。  
 10 ボタンAを押すごとに1月ずつ進みます。
- 11 ボタンBを押すと(日)が点滅します。  
 12 ボタンAを押すごとに1日ずつ進みます。

● ボタンBを押すごとに次の順序で修正箇所(点滅)が替わります。



どの部分も単独で合わせられますので、合わせたい所をボタンBで選びボタンAで合わせてください。  
 ※カレンダーは2006年～2055年まで年・月・日がプログラムされており、月の大小はもちろんうるう年でも月・日の修正は必要ありません。



- 13 ボタンBを押すとID番号が点滅します。  
 14 ボタンAを押すごとにOFF→01→02→…99→OFFの順でID番号が1ずつ進みます。「OFF」は、IDが設定されていないことを示します。
- 15 ボタンBを押すとメモリー方式選択になり、OFF(またはON)が点滅します。  
 16 ボタンAを1.5秒押し続けるとメモリー方式が変わります。OFF：シングルメモリー方式 ※通常はこのタイプを選択してください。 ON：ブロックメモリー方式 ※専門的な使用方法になります。 →「ブロックメモリー方式を選択した場合」(P.11)をご参照ください。
- 17 ボタンBを押すと修正は完了します。

**注意**  
 メモリー方式を変更するとそれまでのストップウォッチのメモリーがすべてクリア(消去)されますので、ご注意ください。

### ③ 液晶パネルのコントラスト調整

・液晶パネルのコントラスト(濃淡)を調整することができます。

① 時刻・カレンダー表示にしてください。



② ボタンCを押すと、コントラストを調整できるようになります。コントラストは、01～10の10段階があります。01が最も薄く、10が最も濃くなります。



コントラスト表示  
 ボタンA: +1 (濃く)  
 ボタンB: -1 (薄く)

③ ボタンCまたは、ボタンDを押すと、時刻・カレンダー表示に戻ります。

### 5 お取り扱いにあたって ① お取り扱い上の注意

**注意**  
**防水性能** 日常生活用強化防水(10気圧防水)ですので雨天時や水しぶきのかかりやすいスポーツ時でもご使用いただけます。  
 ※時計内部にも多少の湿気がありますので、外気の温度が時計内部より低い時、ガラス面にくもりがでる場合があります。くもりが一時的なものの場合、支障はありませんが、長時間消えない時は、お買い上げ店にご相談ください。

#### 保管について

- × 高温・直射日光の当たる場所に保管しないでください。
  - × 極低温(氷点下)の場所に保管しないでください。
  - × 磁気や静電気の影響がある場所に保管しないでください。
  - × 強い振動のあるところに放置しないでください。
  - × 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- ・「-10℃～+60℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。  
 ※この時計は常温(5℃～35℃の範囲内)において安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。

**注意**  
 ・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。

## ②電池についてのお願いとご注意



・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。  
(薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含むもの、ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など・水銀、ヨウ素系消毒液など)

・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

### 電池について

#### (1) 電池寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約3年間作動します。

※S141の電池寿命は、ストップウォッチ動作 3時間/1日を基準としておりますので、それ以上使用した場合は3年に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。

#### (2) 最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

#### (3) 電池交換

①電池交換は、必ずお買い上げ店または、セイコー取扱店で「セイコー純正SB」とご指名の上、ご用命ください。

②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

③電池交換は、保証期間内でも有料になります。

④電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。

特に10気圧以上のものは検査が必要です。

防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。

#### (4) 電池寿命切れ予告機能

電池マーク「BATT.」が点滅を始めたなら寿命切れ間近ですので、お早めにお買い上げ店またはセイコー取扱店で電池交換をご依頼ください。尚、電池交換いたしますとすべてのメモリーデータは消去されます。

#### ⚠ 警告

1. お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2. やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池は直ちに幼児の手の届かないところに保管してください。
3. 万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

#### ⚠ 注意

1. 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2. この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3. 「常温(5℃～35℃)からはずれた温度」下で長時間放置すると、電池が漏液したり、電池寿命が短くなる場合があります。

## ③液晶パネルの交換について

## ⑥長くご愛用いただくために

この時計の液晶パネルは、7年を過ぎますと、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

お買い上げ店に交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

### 点検のおすすめ



電池交換時または2～3年に1度の点検をおすすめします。保油状態・漏液の有無・汗や水分侵入の有無などをお買い上げ店で点検してもらってください。点検の結果によっては、調整修理を必要とする場合があります。

※その時にバッキンの交換をご依頼ください。

※部品交換のときは「セイコー純正品」とご指定ください。

## ⑦製品仕様

1. 水晶振動数 ……32,768Hz (Hz= 1秒間の振動数)
2. 精度 ……常温(5℃～35℃)において±0.0006%以内  
月差換算±15秒以内
3. 作動温度範囲 ……-10℃～+60℃
4. 表示温度範囲 ……0℃～+50℃
5. 表示内容 ……(ストップウォッチ表示)  
スプリットタイム、ラップタイム、トータルタイムまたはランニングラップタイム(時、分、秒、1/100秒)、ラップスプリット回数(000～999)、ブロックナンバー(1～999)、メモリー使用量表示(バーマーク)  
(ピッチ計表示)  
ストローク数(10～180ストローク/分;計測時間1～18秒)、計測回数(1～9)  
(時刻・カレンダー表示)  
時(24時間制)、分、秒、年(2006～2055年)、月、日、ID(OFF, 01～99)、コントラスト調整(01～10)
6. 表示体 ……FE型ネマチック液晶
7. 使用電池 ……リチウム電池SB-T74(CR2430): 1個
8. 電池寿命 ……約3年(但し、ストップウォッチ動作 3時間/1日を基準としておりますので、それ以上使用した場合は3年に満たないうちに容量が切れれます)
9. 電子回路 ……C-MOS-LSI 1個
10. 電池寿命切れ予告機能付き

\*上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

### 8 アフターサービスについて

- ・万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間の場合は保証書を添えてください。
- ・修理期間経過後の修理およびこの商品についてのご相談は、お買い上げ店でうけたまわっております。
- ・なお、ご不明の点は、「セイコーウォッチ株式会社 お客様相談室」へお問い合わせください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

### 9 補修用性能部品について

- ・このストップウォッチにおける補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
- ・修理可能な期間はご使用条件によりいじりく異なる、精度等が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ケース・ガラス・バンドなどは、一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

全国共通フリーダイヤル 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル  
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

本 社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門2-8-10  
<http://www.seiko-watch.co.jp/>